

平成22年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

岐阜大学

平成23年9月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程 ・ 動物実験委員会名簿 ・ 岐阜大学医学系研究科動物実験審査委員会細則 ・ 岐阜大学応用生物科学部動物実験審査委員会細則 ・ 医学系研究科動物実験審査委員会名簿 ・ 応用生物科学部動物実験審査委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験委員会及び各動物実験審査委員会が設置されており、適正に運営されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 □ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程 ・ 岐阜大学医学系研究科動物実験審査委員会細則 ・ 岐阜大学応用生物科学部動物実験審査委員会細則
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 □ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程 ・ 国立大学法人岐阜大学組換えDNA実験安全管理規程 ・ 国立大学法人岐阜大学病原体等安全管理規程 ・ 国立大学法人岐阜大学放射線障害防止管理規程 ・ 国立大学法人岐阜大学エックス線障害防止管理細則 ・ 国立大学法人岐阜大学薬品等管理規程 ・ 生命科学総合研究支援センター動物実験分野利用の手引き
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・ 国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

動物実験委員会委員が、飼養保管施設とその実験動物管理者を把握できる体制となっている。

4) 改善の方針、達成予定時期

達成時期は未定ではあるが、施設の修繕等を定期的に行い、動物実験委員会から飼養保管施設の管理責任者に指導を徹底する。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

該当しない。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・岐阜大学動物実験委員会議事要録 会議開催：2回・医学系研究科動物実験審査委員会 会議開催：12回・応用生物科学部動物実験審査委員会 会議開催：1回 書面審議：43回
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程に基づき適正な委員会活動を実施している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・医学系研究科動物実験審査委員会及び応用生物科学部動物実験審査委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。</p> <p>年度初めの動物実験委員に、医学系研究科及び応用生物科学部の動物実験審査委員会で審査状況の確認を行った。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
・医学系研究科動物実験審査委員会及び応用生物科学部動物実験審査委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
安全管理上注意を要する動物実験について、他委員会とも連携をとり適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
・医学系研究科動物実験審査委員会及び応用生物科学部動物実験審査委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料 ・平成22年度実験動物の飼育等の状況調査表 ・生命科学総合研究支援センター動物実験分野利用の手引き
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程及び生命科学総合研究支援センター動物実験分野利用の手引き等に基づき適正な飼育・保管を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
・ 飼養保管施設設置承認にかかる資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
飼養保管施設の申請に関して、動物実験委員会委員が、直接申請された施設を確認し、委員会 が定めたチェックシートに沿い、調査を行っている。その調査結果をもとに、委員会が施設の 設置承認の審査を行っており、審査体制は適正である。また、施設の状況把握も適正に管理し ているが、一部施設の老朽化が進んでいるところも見受けられる。
4) 改善の方針、達成予定時期
飼養保管施設設置承認後、施設等の設置状況調査を行い、各施設の状況把握に努める。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
・ 岐阜大学動物実験教育訓練実施状況の資料 (実施回数：8回、受講者数(のべ)：514人) ・ 岐阜大学動物実験教育訓練資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当しない。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・平成22年度 動物実験に関する自己点検・評価報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 平成22年度の動物実験に関する自己点検・評価結果を本報告書にまとめ、平成23年10月を目処に岐阜大学のホームページで公開する予定である。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

(1) 岐阜大学動物実験委員会の構成 国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程により 6名
(2) 医学系研究科動物実験審査委員会の構成 岐阜大学医学系研究科動物実験審査委員会細則により 9名
(3) 応用生物科学部動物実験審査委員会の構成 岐阜大学応用生物科学部動物実験審査委員会細則により 5名
(4) 平成22年度実験動物の使用及び飼育状況報告書 (別紙1)
(5) 平成22年度動物実験実施状況に関する調査書 (別紙2)

実験動物の使用及び飼育状況に関する調査(平成22年度分)

別紙1

動物種	教育学部		地域科学部		医学部		工学部			応用生物科学部			生命科学総合研究支援センター			合計		
	使用数	飼育数	使用数	飼育数	使用数	飼育数	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日
哺乳類																		
マウス(遺伝子改変マウス以外)	0	0	0	0	0	0	265	2,650	7	2,330	53,067	145	575	74,187	203	3,170	129,904	356
マウス(遺伝子改変)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,727	3,117,530	8,541	4,727	3,117,530	8,541
ラット(遺伝子改変ラット以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,126	19,766	54	1,387	120,404	330	3,513	140,170	384
ラット(遺伝子改変)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハムスター類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	330	1,724	5	0	0	0	330	1,724	5
モルモット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	183	0	0	2	84	0	185	84	0
スunks	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	0	0	0	29,150	80	200	29,150	80
ウサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	0	0	288	5,852	16	350	5,852	16
イヌ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	7,964	22	0	1,460	4	15	9,424	26
ネコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フェレット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヤギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0
ヒツジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0
ウマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	1	5	0
サル(マカク属)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	365	1	0	365	1
サル(リスザル属)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サル(マーモセット属)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のげっ歯目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の食肉目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の偶蹄目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の霊長目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上記以外の哺乳類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥類																		
ニワトリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	727	20,020	55	0	0	0	727	20,020	55
ウズラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	30	0	0	0	0	23	30	0
その他の鳥類 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
爬虫類																		
ヘビ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
トカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の爬虫類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	265	2,650	7	6,004	102,576	281	6,979	3,349,032	9,175	13,248	3,454,258	9,464

※医学部は生命科学総合研究支援センターで実験・飼育を行っているため、そちらでカウントした。

※※飼育数に関しては平成22年度を含む任意の1年間の延べ数

※※※「/1日」は1日あたりの飼育数

(1 キンカチョウ

動物実験実施状況に関する調査(平成22年度分)

別紙2

部局	動物実験計画書			特殊実験区分***
	申請*	承認	終了**	
教育学部・教育学研究科	0	0	0	0
地域科学部	0	0	0	0
医学部・医学系研究科、医学部附属病院	36	36	0	30
工学部・工学研究科	1	1	0	0
応用生物科学部	114	114	76	19
連合農学研究科	0	0	0	0
連合獣医学研究科	0	0	2	0
連合創薬医療情報研究科	0	0	0	0
産官学融合本部	0	0	0	0
流域圏科学研究センター	0	0	0	0
生命科学総合研究支援センター	6	6	0	4
総合情報メディアセンター	0	0	0	0
人獣感染防御研究センター	2	2	0	1
保健管理センター	0	0	0	0
留学生センター	0	0	0	0
金型創成技術研究センター	0	0	0	0
大学本部	0	0	0	0
合計	159	159	78	54

*継続申請も含む

**平成22年度中に終了報告書が提出された数

***組換えDNA実験、感染実験、RI実験、化学発癌・重金属実験が該当